



2024年3月期第3四半期 決算説明資料

2024.02.02

TIS株式会社

© 2024 TIS Inc.

- TISの河村でございます。よろしくお願いいたします。
- それでは、本日15:00に発表しました、2024年3月期第3四半期の決算の内容について、ご説明します。

2024年3月期第3四半期（累計）業績概要

- ・前年同期比増収増益。
- ・人材投資をはじめとする成長投資の強化等により、収益性はやや低下も高水準を維持。
- ・全体の受注高、受注残高は堅調。
3Q（10-12月）では、開発も積み上がり、全体の増加に寄与。

2024年3月期 業績見通し

- ・上期決算で引き上げた通期計画に沿って順調に進捗中。
通期計画の修正はなし。

- ・はじめに、2ページをご覧ください。
- ・今回の決算のハイライトです。
- ・まず、2024年3月期第3四半期の業績についてです。
- ・第3四半期累計の業績は、上期に引き続き堅調で、前年同期比増収増益となりました。
- ・収益性については、積極的な成長投資の強化等により、わずかに低下したものの高水準を維持することが出来ました。
- ・受注高・受注残高は第3半期累計では過去最高に積み上がりました。特に、直近の第3四半期では全体・開発ともに前年同期比で大きく増加しております。
- ・次に、2024年3月期の業績見通しについてですが、上期決算で引き上げた計画に沿って順調に進捗しており、通期計画の修正はありません。

2024年3月期第3四半期（累計）業績概要

2024年3月期 業績見通し

参考資料

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・各四半期会計期間（3カ月）の数値は累計期間の差引により算出しています。

・各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。（P.9、P.12除く）

（説明省略）

2024年3月期第3四半期（累計）業績概要

2024年3月期 業績見通し

参考資料

（説明省略）

2024年3月期第3四半期（累計） 業績ハイライト（前年同期比）



・顧客のデジタル変革需要等のIT投資ニーズへの的確な対応を通じた事業拡大により、増収。
 ・人材投資をはじめとする成長投資を強化する中で、営業増益を堅持。

（百万円）	2023年3月期 第3四半期 （累計）	2024年3月期 第3四半期 （累計）	前年同期比	
売上高	370,382	404,744	+34,361	(+9.3%)
営業利益	44,444	47,579	+3,134	(+7.1%)
営業利益率	12.0%	11.8%	▲0.2P	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	32,158	32,190	+32	(+0.1%)
四半期純利益率	8.7%	8.0%	▲0.7P	—

・営業外収益：2,899百万円（前年同期比 +1,157百万円）
 →貸倒引当金戻入額 1,017百万円
 受取配当金 674百万円 等

・営業外費用：726百万円（前年同期比 +10百万円）

・特別利益：1,141百万円（前年同期比 ▲3,552百万円）
 →資産除去債務戻入益 551百万円 等

・特別損失：1,838百万円（前年同期比 +725百万円）
 →投資有価証券評価損 1,285百万円 等

*：日本ICSの連結子会社化に伴う連結業績への影響（第2四半期～）は売上高43億円、営業利益7億円（のれん償却後）。

© 2024 TIS Inc.

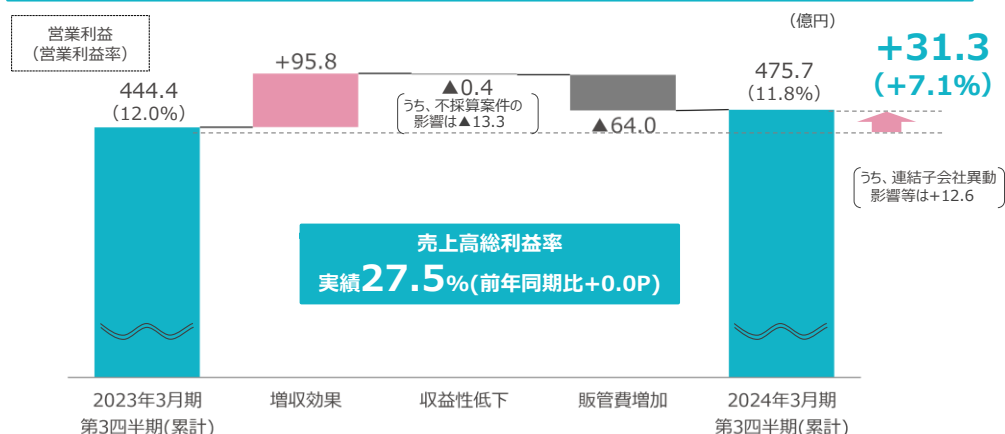
■ 5

- それでは、5ページをご覧ください。2024年3月期第3四半期の業績概要です。
- 上期からの良好な事業環境が継続した中で、着実に事業拡大を進めることで増収増益を実現することができました。
- 売上高は前年同期比9.3%増の4,047億円。
- 営業利益は前年同期比7.1%増の475億円となり、営業利益率は11.8%となりました。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比0.1%増の321億円となりました。
- 四半期純利益率が0.7ポイント低下していますが、前期に政策保有株式の縮減にともない計上した特別利益の反動によるものです。
- なお、連結子会社化した日本ICSの業績影響は、第2四半期からの累計で売上高43億円、営業利益7億円です。

2024年3月期第3四半期（累計） 営業利益要因別増減分析（前年同期比）



・先行投資の強化や不採算案件増の中でも、営業増益を達成。M&A効果も寄与。



構造転換推進のための先行投資コスト：前年同期比+8.2
(売上原価：+8.5 販管費：▲0.2)
「ソフトウェア投資」/「人材投資」/「研究開発投資」
+
人材投資コスト（追加分）：前年同期比+40.0
(売上原価：+28.1 販管費：+11.9)

＜販管費増減＞	
連結子会社異動影響等	+14.9
先行投資（人材投資除く）	▲0.2
先行投資（人材投資）	+11.9
その他	+37.4
計	+64.0

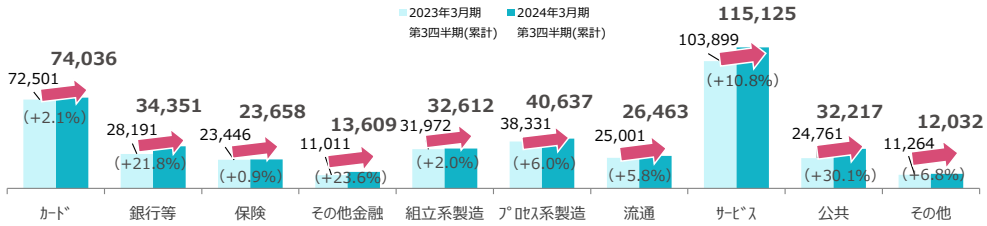
- 6ページは営業利益の要因別増減です。
- 主に増収効果による利益増が、人材投資強化をはじめとする成長投資の増加等を吸収して、前年同期比31.3億円の営業増益となりました。
- 高付加価値ビジネスの提供や生産性向上施策の推進等を通じて、収益性改善も着実に進めることができていましたが、主に第2四半期に発生した不採算案件の影響を受けて、前年同期比で売上総利益率は変わらず、営業利益率は0.2ポイントの低下となりました。
- なお、不採算案件は第3四半期累計では16億円でした。第3四半期は約2億円に抑制しており、引き続き品質向上施策を推進し、不採算案件の未然防止に努めてまいります。

2024年3月期第3四半期（累計） 顧客業種別売上高

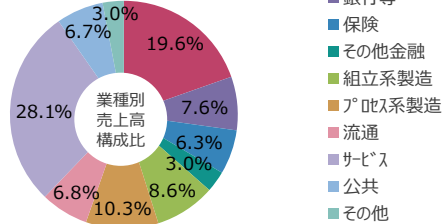


・すべての業種で前年同期比増。サービス、公共、銀行が牽引。

(百万円)

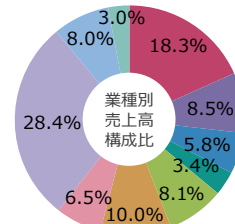


<2023年3月期第3四半期（累計）>



金融分野：36.5% 産業分野：53.8%
公共分野：6.7% その他：3.0%

<2024年3月期第3四半期（累計）>



金融分野：36.0% 産業分野：53.0%
公共分野：8.0% その他：3.0%

© 2024 TIS Inc.

7

- ・ 7ページをご覧ください。顧客業種別売上高の状況です。
- ・ 上期から傾向は変わらず、すべての業種で増加しました。
- ・ 「サービス」については、日本ICSの業績反映、「公共」については公共系金融機関の大型案件が貢献しました。
- ・ 「銀行」については海外を中心に力強く伸びています。

2024年3月期第3四半期（累計）
 主要セグメント別損益状況（前年同期比）



(百万円)		2023年3月期 第3四半期 (累計)	2024年3月期 第3四半期 (累計)	前年同期比	
オファリング サービス	売上高	81,516	93,701	+12,185	(+14.9%)
	営業利益	4,499	5,493	+994	(+22.1%)
	営業利益率	5.5%	5.9%	+0.4P	-
BPM	売上高	32,223	31,239	▲983	(▲3.1%)
	営業利益	3,644	3,073	▲571	(▲15.7%)
	営業利益率	11.3%	9.8%	▲1.5P	-
金融IT	売上高	74,079	79,820	+5,740	(+7.7%)
	営業利益	9,907	11,256	+1,348	(+13.6%)
	営業利益率	13.4%	14.1%	+0.7P	-
産業IT	売上高	82,621	89,679	+7,058	(+8.5%)
	営業利益	12,124	13,268	+1,143	(+9.4%)
	営業利益率	14.7%	14.8%	+0.1P	-
広域IT ソリューション	売上高	115,422	127,285	+11,862	(+10.3%)
	営業利益	13,569	14,178	+608	(+4.5%)
	営業利益率	11.8%	11.1%	▲0.7P	-

オファリングサービス : 決済、基盤系、経営管理分野へのIT投資拡大に加え、M&A効果等により、増収増益。海外事業も売上高伸長に寄与。
 BPM : 既存のデータエントリー業務苦戦の影響が大きく、減収減益。
 金融IT : クレジットカード系の根幹先顧客および公共系金融機関の大型案件が牽引し、増収増益。
 産業IT : 製造・流通等の幅広い業種でのIT投資拡大やERP関連が全体を牽引し増収増益。
 広域ITソリューション : 医療系や銀行、ネットワーク等へのIT投資拡大により増収増益。不採算案件の影響等で収益性は低下。

© 2024 TIS Inc.

8

- ・ 8ページは、主要なセグメント別の状況です。
- ・ 「オファリングサービス」は、デジタル化の進展に伴う決済、基盤系、経営管理分野でIT投資需要をしっかりと取り込めたことに加え、日本ICSを含めた連結子会社異動影響等により、増収増益となりました。海外事業についても売上高の伸びに貢献しています。
- ・ 「BPM」については、既存のデータエントリー業務の苦戦が続き、減収減益となりました。
- ・ 「金融IT」については、上期にピークであったクレジットカード系根幹先顧客や公共系金融機関の大型案件が牽引し、増収増益となりました。
- ・ 「産業IT」については、製造・流通等の幅広い業種でのIT投資拡大の動きに加え、ERP関連が牽引し、増収増益となりました。
- ・ 「広域ITソリューション」は、銀行関連や医療系が好調なのに加え、ネットワーク等へのIT投資拡大により増収増益となりましたが、第2四半期に発生した不採算案件の影響により収益性は低下となりました。
- ・ なお、9ページで事業別に外部顧客向けの売上高を掲載しておりますので、セグメント別のさらに詳細な状況を確認する上での参考にしていただければと存じます。

(参考) 2024年3月期第3四半期 (累計)

主要セグメント別売上高 (事業別) ※外部顧客向け



(百万円)	2023年3月期 第3四半期 (累計)	2024年3月期 第3四半期 (累計)	前年同期比	
オファリングサービス	72,506	84,166	+11,660	(+16.1%)
ソフトウェア開発	34,055	33,197	▲858	(▲2.5%)
運用・クラウドサービス	22,732	28,732	+6,000	(+26.4%)
製品・ソフトウェア販売	15,718	22,236	+6,518	(+41.5%)
BPM	30,505	29,700	▲804	(▲2.6%)
ソフトウェア開発	13,082	9,864	▲3,217	(▲24.6%)
運用・クラウドサービス	17,423	19,056	+1,633	(+9.4%)
製品・ソフトウェア販売	—	779	+779	—
金融IT	72,836	78,683	+5,846	(+8.0%)
ソフトウェア開発	39,837	45,165	+5,328	(+13.4%)
運用・クラウドサービス	27,713	29,522	+1,809	(+6.5%)
製品・ソフトウェア販売	5,284	3,994	▲1,290	(▲24.4%)
産業IT	82,067	89,260	+7,192	(+8.8%)
ソフトウェア開発	55,426	58,113	+2,687	(+4.8%)
運用・クラウドサービス	17,870	19,914	+2,043	(+11.4%)
製品・ソフトウェア販売	8,769	11,231	+2,461	(+28.1%)
広域ITソリューション	110,651	121,380	+10,728	(+9.7%)
ソフトウェア開発	57,616	62,376	+4,760	(+8.3%)
運用・クラウドサービス	40,729	42,188	+1,459	(+3.6%)
製品・ソフトウェア販売	12,305	16,814	+4,508	(+36.6%)

© 2024 TIS Inc.

9

(説明省略)

(参考) 2024年3月期第3四半期 (10-12月)
業績ハイライト・主要セグメント別損益



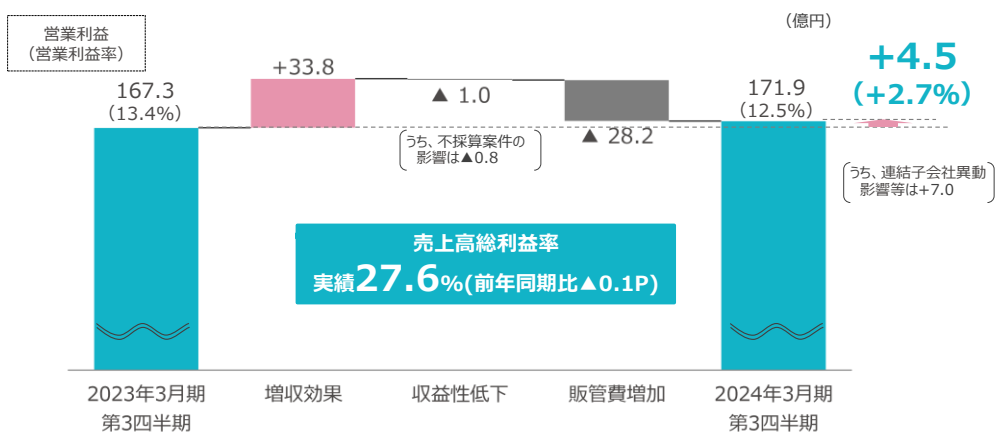
(百万円)	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	前年同期比	
売上高	125,077	137,255	+12,178	(+9.7%)
営業利益	16,734	17,191	+457	(+2.7%)
営業利益率	13.4%	12.5%	▲0.9P	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,323	11,882	▲1,440	(▲10.8%)
四半期純利益率	10.7%	8.7%	▲2.0P	-
主要セグメント別				
オフアリング サービス	売上高	27,628	33,552	+5,924 (+21.4%)
	営業利益	2,004	2,834	+830 (+41.4%)
	営業利益率	7.3%	8.4%	+1.1P
BPM	売上高	10,732	10,245	▲487 (▲4.5%)
	営業利益	1,239	964	▲274 (▲22.2%)
	営業利益率	11.5%	9.4%	▲2.1P
金融IT	売上高	25,361	25,713	+352 (+1.4%)
	営業利益	3,596	3,370	▲226 (▲6.3%)
	営業利益率	14.2%	13.1%	▲1.1P
産業IT	売上高	27,401	31,353	+3,951 (+14.4%)
	営業利益	4,361	4,797	+436 (+10.0%)
	営業利益率	15.9%	15.3%	▲0.6P
広域IT ソリューション	売上高	39,117	41,749	+2,631 (+6.7%)
	営業利益	5,216	5,164	▲52 (▲1.0%)
	営業利益率	13.3%	12.4%	▲0.9P

© 2024 TIS Inc.

10

- 10ページから12ページは、第3四半期の3か月間の業績を示したものです。
- 全体としては前年同期比増収増益となりました。
- 営業利益率が0.9ポイント低下していますが、前年同期が13.4%と非常に高かったためであり、今回の12.5%も高水準だという認識です。
- 売上高総利益率は人材投資強化や大型案件のピークアウト影響がある中で、ほぼ前年同期並みでしたが、前第3四半期の販管費が特に低かった、言わば“波”の影響によるものです。
- 今回の販管費の水準が特に高いわけではありませんので、これをもって、通期計画に対して大きな心配をしていただく状況ではないと考えています。
- なお、四半期純利益の減少は、冒頭に申し上げた通り前年同期比で特別利益の計上額が減少したことによるものです。

(参考) 2024年3月期第3四半期 (10-12月)
 営業利益要因別増減分析 (前年同期比)



構造転換推進のための先行投資コスト: 前年同期比▲1.1
 (売上原価: ▲0.4 販管費: ▲0.7)
 「ソフトウェア投資」/ 「人材投資」/ 「研究開発投資」
 +
 人材投資コスト (追加分): 前年同期比+16.0
 (売上原価: +11.3 販管費: +4.6)

＜販管費増減＞	
連結子会社異動影響等	+7.3
先行投資 (人材投資除く)	▲0.7
先行投資 (人材投資)	+4.6
その他	+17.0
計	+28.2

(説明省略)

(参考) 2024年3月期第3四半期 (10-12月)

主要セグメント別売上高 (事業別) ※外部顧客向け



(百万円)	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	前年同期比	
オファリングサービス	24,626	30,344	+5,718	(+23.2%)
ソフトウェア開発	11,225	11,669	+444	(+4.0%)
運用・クラウドサービス	8,380	10,391	+2,010	(+24.0%)
製品・ソフトウェア販売	5,020	8,284	+3,264	(+65.0%)
BPM	10,188	9,753	▲435	(▲4.3%)
ソフトウェア開発	4,345	3,196	▲1,149	(▲26.4%)
運用・クラウドサービス	5,842	6,325	+482	(+8.3%)
製品・ソフトウェア販売	—	231	+231	—
金融IT	24,924	25,334	+409	(+1.6%)
ソフトウェア開発	14,127	14,260	+133	(+0.9%)
運用・クラウドサービス	9,193	9,853	+659	(+7.2%)
製品・ソフトウェア販売	1,604	1,220	▲384	(▲23.9%)
産業IT	27,222	31,186	+3,964	(+14.6%)
ソフトウェア開発	18,383	19,827	+1,444	(+7.9%)
運用・クラウドサービス	6,012	6,525	+513	(+8.5%)
製品・ソフトウェア販売	2,826	4,833	+2,007	(+71.0%)
広域ITソリューション	37,476	40,091	+2,614	(+7.0%)
ソフトウェア開発	19,622	20,895	+1,272	(+6.5%)
運用・クラウドサービス	13,726	14,193	+466	(+3.4%)
製品・ソフトウェア販売	4,128	5,003	+875	(+21.2%)

© 2024 TIS Inc.

12

(説明省略)

2024年3月期第3四半期（累計） 受注状況（当期受注高）



- ・受注高全体は前年同期比増加。
- ・開発はBPM、反動減のあった金融ITは厳しいものの、オフリングサービス、産業ITが伸長。

(百万円)	2023年3月期 第3四半期 (累計)	2024年3月期 第3四半期 (累計)	前年同期比		
当期受注高	344,697	364,551	+19,853	(+5.8%)	
うちソフトウェア開発	197,217	193,889	▲3,328	(▲1.7%)	
主要セグメント別					
オフリング サービス	当期受注高	64,223	78,143	+13,919	(+21.7%)
	うちソフトウェア開発	30,208	34,589	+4,380	(+14.5%)
BPM	当期受注高	30,762	28,943	▲1,818	(▲5.9%)
	うちソフトウェア開発	13,338	8,924	▲4,414	(▲33.1%)
金融IT	当期受注高	67,739	62,623	▲5,115	(▲7.6%)
	うちソフトウェア開発	43,099	34,413	▲8,685	(▲20.2%)
産業IT	当期受注高	74,741	82,871	+8,130	(+10.9%)
	うちソフトウェア開発	52,333	57,085	+4,752	(+9.1%)
広域IT ソリューション	当期受注高	107,231	111,969	+4,737	(+4.4%)
	うちソフトウェア開発	58,237	58,877	+639	(+1.1%)

© 2024 TIS Inc.

■ 13

- ・ 13ページからは受注状況についてのご説明です。
- ・ まず、受注高全体は堅調に積み上がり、前年同期比5.8%増の3,645億円となりました。
- ・ 開発の受注高においては、前年同期比で減少となりましたが、上期にあった金融ITの大型案件の反動減が大きく影響しています。
- ・ この反動減については当初から見込んでいましたので、概ね想定に沿った結果ととらえています。

2024年3月期第3四半期（累計） 受注状況（期末受注残高）



・受注高の傾向と概ね変わらず前年同期比増加。第3四半期としては過去最高に積みあがる。

(百万円)	2023年3月期 第3四半期 (累計)	2024年3月期 第3四半期 (累計)	前年同期比		
期末受注残高	138,543	143,272	+4,728	(+3.4%)	
うちソフトウェア開発	91,682	88,768	▲2,914	(▲3.2%)	
主要セグメント別					
オフライン サービス	期末受注残高	23,456	28,713	+5,256	(+22.4%)
	うちソフトウェア開発	12,614	15,322	+2,708	(+21.5%)
BPM	期末受注残高	8,760	6,692	▲2,068	(▲23.6%)
	うちソフトウェア開発	8,760	6,509	▲2,251	(▲25.7%)
金融IT	期末受注残高	34,293	32,739	▲1,553	(▲4.5%)
	うちソフトウェア開発	25,139	21,071	▲4,067	(▲16.2%)
産業IT	期末受注残高	30,539	31,676	+1,137	(+3.7%)
	うちソフトウェア開発	21,045	21,666	+620	(+2.9%)
広域IT ソリューション	期末受注残高	41,494	43,450	+1,955	(+4.7%)
	うちソフトウェア開発	24,123	24,197	+74	(+0.3%)

© 2024 TIS Inc.

■ 14

- 14ページは期末受注残高の状況です。
- 受注高の傾向と概ね変わらず、前年同期比増加で、第3四半期としては過去最高に積みあげることが出来ました。
- 今後もしっかりした足取りで事業展開を進めていけると考えています。

(参考) 2024年3月期第3四半期 (10-12月) 受注状況



(百万円)	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	前年同期比	
当期受注高	78,703	92,179	+13,475	(+17.1%)
うちソフトウェア開発	53,727	60,712	+6,984	(+13.0%)
主要セグメント別				
オフラインサービス	当期受注高	13,482	20,151	+6,669 (+49.5%)
	うちソフトウェア開発	8,377	10,742	+2,365 (+28.2%)
BPM	当期受注高	10,745	9,318	▲1,427 (▲13.3%)
	うちソフトウェア開発	4,902	2,825	▲2,077 (▲42.4%)
金融IT	当期受注高	8,482	12,905	+4,423 (+52.1%)
	うちソフトウェア開発	6,731	10,873	+4,142 (+61.5%)
産業IT	当期受注高	20,994	24,049	+3,054 (+14.6%)
	うちソフトウェア開発	16,840	19,931	+3,091 (+18.4%)
広域ITソリューション	当期受注高	24,999	25,754	+755 (+3.0%)
	うちソフトウェア開発	16,875	16,339	▲536 (▲3.2%)

© 2024 TIS Inc.

15

- 15ページは第3四半期の3か月間の受注状況です。
- 全体は前年同期比17.1%増加、開発も13.0%増加と力強く積みあがりました。
- BPMの状況は厳しさが続いているものの、オフラインサービスでは海外事業や日本ICSの運用・販売が積みあがりました。
- 金融ITでは既存の根幹先顧客を中心とした開発案件が積みあがりました。
- また、産業ITではERP関連やモダナイゼーションといった領域が牽引しています。

2024年3月期第3四半期（累計）業績概要

2024年3月期 業績見通し

参考資料

- 続きまして、2024年3月期の通期業績見通しについてご説明いたします。

2024年3月期 業績予想ハイライト

2023年11月1日発表
の計画値より変更なし



- ・人材投資をはじめとする成長投資を強化する中、事業拡大により増収増益の計画。連結子会社の異動影響等も寄与。なお、M&Aした日本ICSの業績は第2四半期から反映(*1)。
- ・当期純利益の減少は、前期の政策保有株式の縮減等による特別利益の反動減が主要因。

(百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 修正計画	前期比	
売上高	508,400	536,000	+27,599	(+5.4%)
営業利益	62,328	64,500	+2,171	(+3.5%)
営業利益率	12.3%	12.0%	▲0.3P	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	55,461	42,000	▲13,461	(▲24.3%)
当期純利益率	10.9%	7.8%	▲3.1P	—
1株当たり当期純利益 (円)	227.11	174.19	▲52.92	(▲23.3%)
ROE (*2)	18.8%	13.7%	▲5.1P	—

*1：日本ICSの連結子会社化に伴う通期業績への影響（第2四半期～）は売上高54億円、営業利益4億円の見直し。
(のれん償却後)

*2：2024年3月期のROEは、試算値。

© 2024 TIS Inc.

17

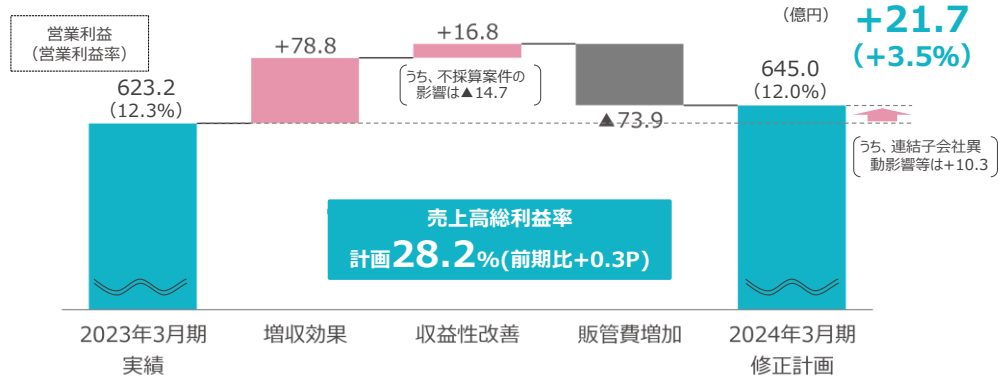
- ・ 17ページをご覧ください。
- ・ 2024年3月期の通期業績予想については2023年11月1日に見直した数値から変更はありません。
- ・ 売上高は前期比5.4%増の5,360億円、営業利益は前期比3.5%増の645億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比24.3%減の420億円を計画しています。
- ・ 第3四半期累計期間での通期に対する進捗率からすれば、通期計画に対して、売上高はやや強含み、利益は想定線で進捗している状況です。
- ・ 第4四半期も大型案件のピークアウトによる影響はあるものの、引き続きIT投資が強まりを見せる分野において、顧客ニーズを的確に捉えた事業展開など、諸施策を着実に推進し、最後まで油断せず、通期計画の達成確度をより確かなものにしていきます。
- ・ 最後に、本日16:30に発表しました適時開示について簡単にご説明いたします。
- ・ この度、複数の事業法人より当社株式の売却意向の連絡を受け、自己株式の取得を行うことといたしました。
- ・ 今回は売却見込みの株式の総数を考慮した結果、当該売却による当社株式需給への短期的な影響を緩和し、既存の株主様への影響を軽減する観点から、自己株式立会外買付(ToSTNeT-3)を選択しました。自己株式の取得総額は約220億円の予定です。
- ・ また、今回の自己株式の取得により、ROEは14%台に向上する見込みです。
- ・ 引き続き、資本効率・資本コストを意識した経営の実現に向けて取り組みを進めていきたいと考えています。
- ・ 以上で、説明を終了いたします。

2024年3月期 営業利益要因別増減分析（予想）

2023年11月1日発表
の計画値より変更なし



- ・成長投資強化によるコスト増を事業拡大による利益増で吸収し、営業増益を見込む。
- ・M&Aした日本ICSの増益寄与は、のれん償却影響を考慮すると限定的。



構造転換推進のための先行投資コスト：前期比+14.7
(売上原価：+10.0 販管費：+4.7)
「ソフトウェア投資」/「人材投資」/「研究開発投資」
+
人材投資コスト（追加分）：前期比+50.0
(売上原価：+32.0 販管費：+18.0)

<販管費増減>

連結子会社異動影響等	+24.6
先行投資（人材投資除く）	+4.7
先行投資（人材投資）	+18.0
その他	+26.5
計	+73.9

（説明省略）

2024年3月期 主要セグメント別損益状況（予想）

2023年11月1日発表
の計画値より変更なし



(百万円)		2023年3月期 実績	2024年3月期 修正計画	前期比	
オフラインサービス	売上高	111,752	124,300	+12,547	(+11.2%)
	営業利益	6,426	7,300	+873	(+13.6%)
	営業利益率	5.8%	5.9%	+0.1P	-
BPM	売上高	43,255	43,000	▲255	(▲0.6%)
	営業利益	5,123	4,850	▲273	(▲5.3%)
	営業利益率	11.8%	11.3%	▲0.5P	-
金融IT	売上高	101,184	105,500	+4,315	(+4.3%)
	営業利益	13,896	14,300	+403	(+2.9%)
	営業利益率	13.7%	13.6%	▲0.1P	-
産業IT	売上高	113,632	117,700	+4,067	(+3.6%)
	営業利益	16,728	17,600	+871	(+5.2%)
	営業利益率	14.7%	15.0%	+0.3P	-
広域ITソリューション	売上高	160,010	169,100	+9,089	(+5.7%)
	営業利益	19,343	20,000	+656	(+3.4%)
	営業利益率	12.1%	11.8%	▲0.3P	-

オフラインサービス : 連結子会社の異動影響等により増収増益。決済やその他幅広いサービスの拡大は主に売上へ寄与。
 BPM : 付加価値向上と業務最適化支援等に注力も既存のデータエントリー業務等の苦戦が継続し増収減益。
 金融IT : 大型案件の着実な推進及び既存顧客を中心としたIT投資需要の取り込みにより、増収増益。
 産業IT : ERPおよび幅広い業種の顧客のIT投資需要の取り込みにより増収増益。
 広域ITソリューション : 医療事業及び既存顧客のIT投資需要の取り込みおよびソリューションの進展により、増収増益。

© 2024 TIS Inc.

19

(説明省略)

2024年3月期第3四半期（累計）業績概要

2024年3月期 業績見通し

参考資料

（説明省略）

2024年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）

2023年11月1日発表
の計画値より変更なし



(百万円)		2023年3月期 下期	2024年3月期 下期	前年同期比	
売上高		263,095	268,511	+5,415	(+2.1%)
営業利益		34,618	34,112	▲506	(▲1.5%)
営業利益率		13.2%	12.7%	▲0.5P	—
親会社株主に帰属する四半期純利益		36,627	21,692	▲14,934	(▲40.8%)
四半期純利益率		13.9%	8.1%	▲5.8P	—
主要セグメント別					
オフライン サービス	売上高	57,865	64,151	+6,286	(+10.9%)
	営業利益	3,931	4,640	+709	(+18.0%)
	営業利益率	6.8%	7.2%	+0.4P	—
BPM	売上高	21,765	22,005	+240	(+1.1%)
	営業利益	2,717	2,741	+23	(+0.8%)
	営業利益率	12.5%	12.5%	▲0.0P	—
金融IT	売上高	52,466	51,393	▲1,073	(▲2.0%)
	営業利益	7,585	6,413	▲1,171	(▲15.4%)
	営業利益率	14.5%	12.5%	▲2.0P	—
産業IT	売上高	58,412	59,373	+960	(+1.6%)
	営業利益	8,965	9,129	+163	(+1.8%)
	営業利益率	15.3%	15.4%	+0.1P	—
広域ITソリューション	売上高	83,706	83,564	▲142	(▲0.2%)
	営業利益	10,990	10,986	▲4	(▲0.0%)
	営業利益率	13.1%	13.1%	+0.0P	—

© 2024 TIS Inc.

下期計画 = 通期計画 - 上期実績

21

(説明省略)

2024年3月期第3四半期 プレスリリース/お知らせ①



発表日付	タイトル
2023年10月2日	TIS千代田システムズ、インテリジェントP&IDソリューション「Dynamic Flow Navi®」に「バルブパターン管理機能」を追加
2023年10月2日	TIS および連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2023年10月10日	TIS、「PCI DSS対応認証スキャンサービス」を提供開始
2023年10月11日	インテック、正栄食品工業のファイルサーバのAWS移行とその運用・監視を支援
2023年10月12日	TIS、「UXデザインコンサルティングサービス」を提供開始
2023年10月17日	インテック、OutSystemsジャパンとパートナー契約を締結
2023年10月19日	TISのクラウド型経費精算システム「Spendia」とOBCの「奉行Edge 請求管理電子化クラウド」、デジタルインボイスの送受信テストが完了し、経理業務のさらなる効率化、生産性向上を促進
2023年10月26日	TIS、既存サービスのモダナイズにローコード開発ツール「Oracle APEX」を活用し、従来の開発期間の1/10以下で実現
2023年10月26日	インテック、延岡市とデジタル技術を活用した地域創生に関する連携協力協定を締結
2023年10月27日	インテックの「EDIアウトソーシングサービス（EINS/EDI-Hub Nex）」をJPOジステックスが採用
2023年10月27日	TIS、Oracle Cloud InfrastructureとMicrosoft Azureのマルチクラウド運用でセキュリティの統合管理・監視を一元管理するメニューを提供開始
2023年10月30日	アグレックス、プロセスを自動化し契約保全業務のDXを実現する「契約保全オートメーション事務サービス」を提供開始
2023年10月31日	アグレックス、アナログからデジタルへの変換に特化した「Digitalization Center」の第2拠点を開設
2023年10月31日	クオリカ、「SpecialtyQube Growth」を全国97店舗で雑貨専門店を運営するCHELSEA New Yorkに導入
2023年11月1日	ネクスウェィ、「トツゴー」のクラウド請求書受領・明細突合サービスの突合精度を向上させ、新機能を追加
2023年11月6日	TIS、「WOOD DREAM DECK®」での小屋サウナ製作で「ウッドデザイン賞2023」を受賞
2023年11月6日	インテックのスマートホームアプリ「UCHITAS」が「シンプルスタイル大賞2023」の「特別賞」を受賞
2023年11月10日	TIS、ニッセイ・ウェルス生命保険の基幹システムのクラウド移行を支援
2023年11月13日	TISのヘルスケアバスポートがマイナポータルと連携
2023年11月17日	インテック、第17回「ASPICクラウドアワード2023」で、マルチ環境リモート監視サービス（EINS/MCS MIRMO）と電子帳票システム（快速サーチャーGX）クラウド版がW受賞

(説明省略)

2024年3月期第3四半期 プレスリリース/お知らせ②



発表日付	タイトル
2023年11月21日	TIS社員が「AWS Ambassador Awards 2023」において「Top AWS Ambassadors」Japan部門で1位を受賞
2023年11月21日	マイクロメイツ、操作・業務マニュアルの作成を効率化する「マニュアル・スタートアップセット」を提供開始
2023年11月27日	TISの自律型人材育成支援プラットフォーム「Practice」に講義動画を組み合わせ、チーム学習ツールとして強化
2023年11月28日	マイクロメイツ、「ChatGPT」など文章生成AIの活用に役立つ「要約力と文章生成AI活用ガイド」を提供開始
2023年11月29日	TISとフィナンシェ、企業が暗号資産を用いて資金調達を実施する「IEO支援サービス」を開始
2023年11月30日	インテックのスマートホームアプリ「UCHITAS」がエリーパワーの蓄電池（POWER YIILE 3/ POWER YIILE HEYA）に対応
2023年11月30日	TISと滯標、AIモデルの管理・精度監視を実行できる「DataRobot AI Platform」の取り扱いを開始
2023年12月1日	TIS、観光メタバースアプリ「BURALIT」のブラウザ版の提供開始
2023年12月1日	TISおよび連結子会社の人事異動のお知らせ
2023年12月4日	山梨中央銀行とTIS、新事業創出に向けた取組みを共同で開始
2023年12月5日	マイクロメイツ、「コールセンターのプロが教える電話応対スキル向上ガイド」を提供開始
2023年12月6日	TIS、ニッセイ・ウェルス生命の仮想デスクトップ基盤をクラウド移行
2023年12月8日	ネクスウェイ、「FNX e-受信FAXサービス」をインテックの「快速サーチャージGX」と連携し、電子帳簿保存法に対応
2023年12月8日	TIS、「AML/CFT統合サービス」を提供開始
2023年12月11日	インテック、プレス機械メーカーのエイチアンドエフとIoTを活用した機械の遠隔保守と監視を実現するシステムを開発
2023年12月11日	バーチャル空間での視線の可視化により、偶然の何気ない会話を誘発する技術を開発し検証
2023年12月12日	「セキュアなセンサデータシステム」の国際標準化へ向けた経済産業省の公募が採択、活動を開始
2023年12月12日	ネクスウェイ、「FNX e-受信FAXサービス」をウイングアーク1stの「invoiceAgent」と連携し、電子帳簿保存法に対応
2023年12月13日	TIS、Tenable社のTenable One™に対応した脆弱性管理の専門的な運用を行う「Tenable One™活用支援サービス」を提供開始
2023年12月13日	大和IR「2023年インターネットIR表彰」において、最優秀賞を3年連続で受賞

(説明省略)

2024年3月期第3四半期 プレスリリース/お知らせ③



発表日付	タイトル
2023年12月14日	インテック、碧海信用金庫の金融教育セミナーでVR空間を提供
2023年12月14日	TIS、「APIプラットフォーム構築サービス」にコンサルティングメニューを追加
2023年12月18日	TISと沖縄都市モノレールが参画する「沖縄MaaS」が、スパイスワークスホールディングスが運営する国際通りのれん街でお得な飲食回数券が利用できる新機能を追加
2023年12月19日	インテックとバックテック、企業の健康経営支援における事業提携を開始
2023年12月19日	日産自動車、ダイキン、TIS、マツモトプレジジョン、AiCTコンソーシアムのもと電気自動車と業務用空調が協調したエネルギーマネジメントの実用化検証を開始
2023年12月20日	TISの「BtoB新規事業開発支援サービス」に社会課題解決型の新規事業を伴走型で支援する新メニューを追加
2023年12月21日	クオリカ、ナブテスコ工場業務の効率化プログラムを自動生成する生産性改善システム「KOM-MICS」を導入
2023年12月21日	TIS、全ゲノム検査を提供するジーネックス株式会社へ出資
2023年12月22日	TIS、クラウド型経費精算システム「Spendia」に新機能を追加

(説明省略)

ITで、社会の願い叶えよう。



<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。

(説明省略)